令和元年度　北海道教育オーディオロジー研究協議会　冬季講習会　アンケート集約

1. 各講座の感想

講座１・２

・小１の児童との発音練習の映像を見せて頂き、普通の日常会話と本文を読むときの声のスピードや表情まで違うことにとても驚きました。発音の難しさもあるのかもしれませんが、やはり日本語力を伸ばすことが大切なのだと改めて感じました。同じ１年生を担当しているので参考にさせて頂きます。ありがとうございました。

・長い年月をかけて研究、取り組まれてきた実践研究の成果を惜しげもなくたくさん提供していただいたことに深く敬意を払います。このありがたい成果を是非踏まえて、明日から子どもたちに接していきたい。少しでも生かしていきたいと思います。ありがとうございました。

・発音について学びたいと思っていましたが、なかなか研修の機会がなかったので、大変嬉しく、興味深く拝聴しました。私は過去、［ｋ］と後続の母音の渉りを上手に指導できず、２ヶ月余り要し、やっと ka が出た時の喜びを覚えています。名前に力行音の入る幼児だったので、お母さんもとても喜んでくれました。その時のこと、忘れかけていました。今日、板橋先生の実践に基づいたきめ細やかで丁寧な指導を拝見し、初心に返り、（日々の忙しさを言い訳にせず）、学び直しをしたいと思いました。また、point を的確に、子どものわかる言葉で指示することも重要なのだと思いました。（質問）今日はこれまでと切り上げるタイミングが難しく、つい欲張ってしつこくしたり、逆に早目に切り上げてしまいがちです。何かお決めになっている見極め方や基準はありますか。

・実際に子どもへ発音指導することは少ないと思いますが、どのような方法で行っているのか興味があったので、知ることができてよかったです。

・発音指導について、具体的に知ることができてよかった。日々の指導で、発音指導を行っているが、その指導に、今日学んだことを生かして取り組んでいきたい。

・発音指導については、ご経験のある先生から詳しい方法をお話ししていただいて、また細かい資料を配布していただいて大変勉強になりました。各聾学校でも研修していく大切な内容だと思います。

・発音指導について学ぶことができ、大変ありがたかったです、実際の指導の様子（映像）も大変勉強になりました。

・発音指導についてのお話をお聞きして、改めて指導方法の大切なことなど、学ぶことがたくさんありました。お話も分かりやすく、実際の指導場面の VTR も見せていただき、とても勉強になりました。ありがとうございました。

・発音指導について、実践事例も交えながらお話いただき、勉強になりました。可能ならば、１つ１つ勉強させていただきたい程、時間があっという間でした…。CI 装用している場合、聴覚を活用し、発音できるようになっている音も多くあり、従来通りの発音指導を行うべきか、違う方法がいいのか、

と考えもしました。自分が担当している子どもを思い浮かべながら、講義を聞いていると、確かに「ら行」音が上手く出なかったり、独自の発音方法であったりしていることもあるので、調音要領を意識して出来るよう、改めて指導を振り返りたいと思います。また、学校での指導後、家庭において取り組んでいることがあれば、促したいです。

・発音指導について、HA や CI の技術が進んだ現代であっても、やはり発音の指導は必要です。しかし、どの聾学校も発音指導ができる教師が少なくなってきています。CI の子が増えてきていることに伴い、「発音指導をしなくても大丈夫」と勘違いをする教師もいます。校内研修ではなかなか発音指導の実際を扱うことが難しく、昔ながらの発音指導の技術の伝承が大きな課題となっています。私自身、発音指導に携わる時間がほとんどなく、わからない（できない）ことが多くありますので、今日の内容は、今後の教員生活のなかでなくてはならない大切なこと、ということを改めて実感しました。もっともっと勉強しなくてはならないとも感じました。
・人工内耳時代における、発音、発語指導について、一端なのでしょうが、ここまで丁寧にわかりやすく御指導いただけるのは、大変貴重な機会で、求めていたものでした。ありがとうございました。
・発音、発語の指導の仕方には、様々なエビデンスに基づいているのだということを、改めて実感した。ろう教員の立場から、どのように発音、発語の指導に関わっていくか考えていきたい。
・板橋先生のお話を道内で直接伺えるとは思っていませんでした。先生のテキストをもとに、頭から煙を出しながら学んでいましたが、今回、少しですが「分かった」と自信が持てたことがありました。特殊音節の発話例など、すぐに 3 学期からやってみよう！と思える手立ても教えて頂きました。それとともに、日常の関わりの中で、どれだけ意図的に、そして楽しく学べる手立てを用意できるのか…教師の力量だということを教えて頂きました。今回の資料は宝物です。
・発音指導は、発音の明瞭性を伸ばすだけではなく、日本語の音韻表象の読み書きの力につなげることが大切だということを学びました。実際の指導場面も見せていただき、大変勉強になりました。
・とても参考になりました。ありがとうございました。
・とても勉強になりました。また、講座を行っていただきたいです。
・久しぶりにこのテーマ、内容についてじっくり学ぶことができました。若い世代の方々にはどのように感じられたのか、日々の実践に生かせるものとして捉えていただけるといいなあと思っています。ありがとうございました。
・発音、発語指導にかかわって、かなり具体的なお話、資料があって非常に参考になりました。高等部段階でも出来ることは何かを考えながら、指導に活かしていきたいです。
・板橋先生のお話、とても興味深かったです。教材も参考になりました。
・発音指導について、経験豊富なわけではないので、とても勉強になりました。その子、その子の状況に応じて、指導のポイントは何なのか、常に考え続けたいと思います。発音指導は、子どものやる気も重要で、意識づけ関心を持たせる工夫に悩んだことを思い出しました。（現在は、発音指導をする機会がないです。）ありがとうございました。

・発音・発語指導の基礎について、注意すべきポイントを明確に説明していただいたので、とてもわかりやすく勉強になりました。
・発音指導の演習などがあるとよかったと思いますが、それは今後の実践で勉強していきたいと思います。
・発音指導の具体的な手段が多く提示され、参考になりました。 日本語の読みのルールに関する話も、とても興味深く拝聴しました。聾学校で指導する際は必要な知識ですね。
・ビデオを交えて指導の実際について詳しく聞くことができ、貴重な機会だったと思います。
・発音指導について、VTR もあり具体的に学ぶことができ、有意義な研修でした。「明瞭度を１％上げるのではなく、日本語の感性を高める」という言葉が印象に残りました。発音指導が単なる訓練ではなく、子どもの人生を豊かにする教育の一つであることを改めて考えさせられました。
・実践できそうな話が聞けてよかった。
・指導の実際が見れ、説明したことをイメージできた。発音のみのイメージでしたが、そこだけではなく、トータルの言語指導をすることがわかりよかった。私は通常学級担任なので、クラスにいる難聴の子の大変さを伝えたいと思った。
・発語訓練。資料、ありがとうございました。難聴児にかぎらず、必要だなと思う教育支援だと思いました。
・聾学校ならではの発音訓練の内容が知れてよかったです。
・牛乳瓶のふたで P 音のトレーニングを行う手技がわかってよかったです。講義中心より、実技中心の（手技中心）講座にしてほしいです。
・ビデオも加えて発表されており、わかりやすかったです。
・実際の教材を見せていただいたり、VTR を見せていただけたので、具体的な方法を知ることができ、知りたかったことが知れたので、大変勉強になりました。ありがとうございました。
・ひとつひとつの音の誤り方はバラバラではないことや、実際の訓練の様子、使用する道具などを知ることができ、学生の私には学校で学べない色々なことがわかり、とても良い機会になりました。

講座 3

・日々の会話に役立つ教育オーディオロジーの前半の話や、クイズのあった内容など、基本的なことなのかもしれませんが、逆光にならないようにするや反響があるほうが聞きやすいなど、誰でもすぐに配慮できる内容などが聞けてよかったです。
・現場の教師の目線で大変わかりやすく、かつ深い内容をお話してくださり感謝します。「教育オーディオロジー」の科学的な目を持って、聴覚障害教育にあたりたいと思います。
・クイズなども交えながら、分かりやすく、また、楽しく学ぶことができた。教育オーディオロジーで大切なことを学ぶことができた。子どもの就学先の小学校にも伝えていきたい。
・子どもの会話力を育てるために、教師の会話力が重要というお話で、子どもの年齢、発達に合った会

話、それは関わりも同じだと思いました。３つの手当ても本当にその通りだなと思いました。お話の続きをお聞きしたいです。

・会話をする意欲と自信を児童に持たせることができるように、今回の講座内容を帰ってから改めて復習したいと思います。

・人間の耳は、3000Hz の音が一番聞き取りやすいということは初めて知った。それと同時に、オージオグラムに載っているスピーチバナナの意味を初めて理解したような気がする。頂いた資料を読み返して、理解を深めていきたい。

・長年難聴児の指導に当たられてきた思いや専門知識をとても分かりやすく教えて頂きました。とても大切なバトンを受け渡して頂いた気持ちです。次回の後半が待ち遠しいです。反面、「自分の実践はどうなっていますか？」と自分の子どもとの関わりを見直し修正を…と助言頂いたと思っています。ありがとうございました。

・私のような聾学校経験が浅い教員にとって必要な、難聴児と関わる上での基礎を丁寧に教えて頂きました。次回も楽しみです。

・来年１月の池田先生のお話も楽しみです。

・今後ますます、普通校（難聴学級）と聾学校の連携が、子どもたちの適正な教育の向上に欠かせないと思っています。ありがとうございました。

・日常的な場面や授業場面などで、必要な観点が何かを改めて考えることができました。オージオグラムについて、まだまだ知らないこと、読み取れないこと、特徴などを聞くことができて参考になりました。

・難聴児を理解することの大切さをあらためて感じるお話でした。次回、お話の続きを伺えるのを楽しみにしております。

・池田先生の経験とお人柄がよくわかる講座でした。クイズ形式にして下さったことも、午後の最初の講座なのでありがたかったです。　２回に分けた内容ですが、時間に余裕を作って１回にまとめて下さった方が良かったかなと思いました。

・「日々の会話に役立つ」という題名の通り、日常配慮すべきことが具体的にかつ、その理由が科学的に説明されていて、勉強になりました。

・学習環境について理解できた。特に、３択の問題が良かった。

・社会で生活していく上で、将来の視点で考える機会となった。

・訓練時に気を付けるポイントが分かりやすかったです。来年の冬も楽しみにしています。

講座４

・お医者様からの新スクの必要性についてのお話は、とても心強いものがあり、特に確率的に生まれてくる難聴の子どもたちとその親たち、そして、教育現場でその子たちに関わる学校職員の私達には明るく前を向いて進んでいける一歩になったと感じています。

・ABR や OAE などについて、詳しく知ることができた。日本全国の情報や北海道の情報、現状を知ることができてよかった。医療の面から、病院の先生から話が聞けてよかった。
・新スクの現状について医療現場の方から学ぶことができ勉強になりました。
・新スクによって、早期に聴覚障害児が発見されることを乳相担当している者としても強く願っているとともに、そこがゴールではなく、そこから早期療育を充実させていかなければと強く思いました。ありがとうございました。
・今回、札幌市議の佐々木先生からも少しお話がありました。札幌市の HA 助成についても知ることができました。厚労省から各自治体に通知があったにも関わらず、「助成のことは知りません」という役所も多くありますので、今後、全ての自治体で対応してくれることを願っています。聞きそびれてしまったのですが、CI のプロセッサ（更新（買い替え））への助成についてはどうなっているのでしょうか？帯広市は CI プロセッサ更新への助成はなく、全額自己負担なった家庭がありました。次回、機会があるときにお聞きしたいと思っています。
・釧路からもありましたが、軽度難聴への助成について、十勝管内でもまちまちで、帯広市はあっても中札内村にはなく、そういった相談が聾学校に寄せられます。対応が難しく、道や道教委にも窓口がなく、不平等な感覚を受けていました。ただ、最終的には議員の力を借りなくてはならないのか、と思うと複雑です。
・ALAJIN について（昨日の北聴研でも取り扱っていた）改めて学ぶことができたので、勉強になりました。
・新生児スクリーニングについて、再確認できてよかった。自分の中で「両耳パスだから大丈夫」「リファーだから難聴」と思っている節があったので、今後は決めつけないように意識していきたい。
・最新の情報を含め、道内の現状を教えて頂き、自分たちの地域はどうなっているのか？そのことに無知であってはいけないと改めて感じました。今回は新スクのお話でしたが、医療と教育とつながっていける環境、機会を作って頂けたことに感謝しています、そこに行政（地方の）も関わってもらえたら、その働きかけを行っていくことが必要と思いました。
・新スクの意義や有用性（逆に結果の伝え方の危険性も）を学びました。保護者対応に生かしていきたいと思います。教育への期待も、教員として真摯に受け止めていきたいと思います。
・新スクのお話で、一側性でも補助してもらえると聞き、驚きました、他の地域でも、補助してもらえるといいなと思い聞いていました。
・経験不足のため、新スクについての話はなかなか聞けていないのが現状だったので、興味を持って聞けました。
・新スクの意義や現状についてわかりやすく説明していただき、とても参考になりました。 講座 5 それぞれの補聴器会社の良さがプレゼンされていて興味深くお話をきかせていただきました。
・新スクに関する知識と現状を知ることができて参考になりました。 話のスピードが速く、PP に目を通している間に次に進んでしまうので、理解しにくい面もありました。

・新スクについて大雑把に知っていることはあっても、今日のように詳しいお話を聞いたことがなかったので、大変勉強になりました。
・新スクの実施、北海道の現状、お金の問題…などの情報を知ることができました。本当は、自分で調べて情報を得なければならないとは思いながらも、なかなか勉強不足な分野ですので、このような機会があり、ありがたいです。
・新スクの必要性、現状を理解できた。
・ロジャーの助成については、当市も現在課題としているところです、今後の道の動きに注目したいと思います。また自身もできることがないか考えさせられ、よい刺激となりました。ありがとうございました。
・北海道での NHS の現状が詳しく知れて良かったです。佐々木議員からも現状どこまで進んでいるのか知れて良かったです。

講座５

・最新の補聴器の情報やロジャー機器について、知ることができて良かった。直接、話を聞くことあできたこともよかった。
・最新の情報を聞けたのはとても良かったです。
・「軟骨伝導補聴器」を初めて知りました。体験できてよかったです。
・一般企業の方のプレゼン、勉強になります。
・４社から新たに出された補聴器や従来の補聴援助システムの内容を再度講聴できて良かったです。

全体

・どの講座もとても分かりやすく、勉強になりました。
・初めて参加させて頂き、少し緊張して講習を受けました。勉強不足で理解が難しかったですが、繰り返し勉強をしていきたいと思いました。ありがとうございました。
・どの講義も大変ためになりました。
・全て、何度聞いても良い内容で、良かったです。
・どの講座も専門性が非常に高く、一般参加者にも分かりやすい内容で助かりました。普段何気なく見聞きしている言葉が、具体的に説明されていて、今更聞くことができない知識を丁寧に学ぶことができました。
・大変勉強になりました。ありがとうございました。
・午前、午後ともに大変有意義な内容で勉強させて頂きました。講師の方々、準備から本日の発表と本当にありがとうございました。
・教育、医療、補聴器等、様々な分野の話が聞けてとても有意義な時間を過ごすことができました。他分野がバランスよく配置されていてよかったです。
・詳しい資料や丁寧な説明で理解が深まりました。また、立場が違う講師の話が聞け良かったです。

・難聴児支援の経験の浅い中でも、とても分かりやすく、勉強になりました。
・充実した内容で、とても勉強になりました。
・各講座、非常に勉強になり、大変多くのことを学ばせて頂きました、どうもありがとうございました。

2. 今後の講習会に望むこと

講座の内容について

項目	票数
もっと初歩的な内容を扱ってほしい	11
より専門的な内容を扱ってほしい	3
聴力測定の基礎と実際	13
医療機関における診療と言語訓練の実際	19
特性表の見方とフィッティングの方法	14
様々な検査類の紹介①（聴力、語音、発音検査など）	22
様々な検査類の紹介②（言語力ほか、各種発達検査など）	20
難聴体験の種類や実践例の紹介	15
自立活動における日本語の指導について	32

講座の形式について

項目	票数
今回のような講義形式の講座が良い	35
初級・中級のように分けた講座が良い	16
実践例を持ち寄ったり、意見を交流し合ったりするなど、参加型の講座が良い	9

希望する講師について

講師	テーマ
長南　浩人　先生	
大西　孝志　先生（東北福祉大学）	障害の理解
上農　正剛　先生（九州保健福祉大学）	確かな会話
新谷　明子　先生	
福島　邦博　先生（岡山県）	
瀬底　正嗣　教頭（日本聾話学校）	聴覚主導の教育についてや、インタラクション（対話）の取組については、全道の先生方に知ってほしい。

3. その他

各講座について

・様々な分野の講師の方からの話や最新情報などを知ることができて、とても充実した研修会でした！
・池田先生の講座については、次回まで１年空いてしまうので、完結する内容の講座を２本行っていただけると、良かったと思います。せっかくの講座の内容が半端に終わってしまうのがもったいないのと、受け手としても不完全燃焼な感じです。
・（どうしようもないのかもしれませんが…）個人的に池田氏の講演が一番興味深くもっと聞きたかったので、続きは１年後ではなく、時間を延ばしてほしかったです。ありがとうございました。
・今回の講座を通して新たな知識や技能が得られました。今後も定期的に参加して、知識の更新や技能の習得を目指していきたいです。
・VR が面白かったです。
・特支担任の経験もなく、専門的で難しい…と思い、必死でついてきました。難聴児に対する向き合い方が今回の研修を通し、３本の講演とも共通していて、自分の中で新たな発見がありました。自分がまだ見ていない世界に飛び込むことで、知見が拡がりました。ありがとうございます。
・次回来られるかわからないので、講座内容を次回に持ち越さないような内容がありがたいです。

今後の講座について

・北海道の各聾学校で求められている内容を研修会として行ってほしい。補聴器のこと、ロジャーの使用状況、言語指導など、たくさん学びたいと思います。
・ありがとうございました。聾学校経験が浅い人向けの講座があると嬉しいです。
・重複障害における言語指導のあり方や、養護施設（学校）の指導の実際、補聴手段について一度研修を受けたい。また、発達障害児における補聴環境や自己選択のあり方についても学びたい。
・１日大変学習になりました。福祉機器の展示や、メーカー説明もいいかもしれませんね。（CI と HA とメーカー展示が続きましたので…）
・初級→難聴体験的な活動があってもよいかと思います。指導の引き出しを増やせるような内容（補聴機器について、人工内耳について、環境整備など）。中級→当事者の視点や医療的な内容を含めた専門的なことなど。幼・小・中・高→管理職（多校種とか）
・講習会の講座の形式については、講義型と参加型の両方があると、メリハリがついて良いかと思います（例：午前中は講義型、午後からは参加型にする　等）。今後、この講習会で取り組んでほしいこととして、聴力と書記日本語の能力の関係を研究されている方がいらっしゃいましたら、ぜひお話を伺いたいと思います。
・個人的に勉強不足であり、発音・発語のトレーニングをもっと具体的に（というよりやさしく、基礎的なところを）学びたいと思いました。本日は学習の機会を頂きありがとうございました。

会場について

・事務局連絡が PP で掲示されていたこと、時短になり良かったです。湯茶のサービス、嬉しかったです。湯茶の周囲で久しぶりにお会いできた方々と話しもはずみました。
・講座内容はもちろん、HA のブースや飲み物などの心配もあり、充実した研修会でした。ありがとうございました。
・事務局の先生方、準備お疲れ様でした。夏は IC、今回の HA のブースがあり、最新の機器の情報を知ることができました。コーディネーターを担当している私にとっては、とても有益なものとなりました。また、あたたかいお茶の準備も嬉しかったです。
・次のオーディオロジー研究協議会も参加したいと思えるような丁寧な準備（湯茶や補聴器会社のブース設置等）があり、素晴らしいと思いました。（意見が分かれると思いますが）今後も札幌聾学校を会場として協議会を行うのが、準備や自由度を考えるとよいと思います。
・室内もあたたかく、コーヒーブースもあり、とても快適に参加させて頂きました。

参加費・資料・お弁当等について

・お弁当、資料等、かゆいところに手の届く、運営、ご苦労様です。2500 円という値段以上の充実した内容だったと思います（夏季も）
・参加費が安くなったのは嬉しかった。 また、総会がなくなったので昼休みはゆっくり過ごすことができた。
・資料のデータ配布、とても効率的で活用しやすい方法だと思いました。
・参加費の値下げ、大変ありがたかったです。資料の各自印刷、良い取組だと思います。
・弁当の斡旋とても良いと思います。今後も続けてもらいたいです。
・詳しい資料、準備などありがとうございました。お弁当おいしかったです。選べるなんて…
・事前に資料を準備するのは大変でしたが、話の概要を先に知ることができるのは良かったと思います。（もっと読みこんでおけばさらに理解が深まったと反省しています。）

事務局員へ

・準備などありがとうございました！
・事務局のみなさんお忙しい中、運営をしていただきありがとうございました。
・ありがとうございました。
・事務局の先生方、当日の運営をはじめ、前日までの膨大な準備等、お疲れ様でした。
・運営に関わった先生方、ありがとうございました。
・事務局員のみなさん、有意義な研修会をありがとうございました。
・事務局員の皆様、運営お疲れ様でした。ありがとうございました。
・スタッフのみなさん、お疲れ様です。とても有意義な研修でした。
・いろいろありがとうございました。

・事務局のみなさん、ありがとうございました。
・大変貴重で有意義な講習会でした。運営の皆様ありがとうございました。
・運営の方々、大変だったかと思います。ありがとうございました。
・事務局の皆様、お忙しいところこのような勉強の機会を作ってくださりどうもありがとうございました。
・滞りのない運営、お疲れ様でした。講座の充実はもちろんのこと、様々な業種の方と交流ができるような場があることに感謝します。
・参加の申し込みが遅くなり、大変申し訳ありませんでした。

★回収率…64%（47 枚/73 人）